

Q&Awithバリー・スタグナー牧師

アミール・ツアルファティ

-質疑応答-

<https://youtu.be/EdZ2SRfj50s>

アミール：皆さん、ご参加くださりありがとうございます。マイク牧師、お祈りをよろしく申し上げます。その後、今日のQ&Aの司会をお願いします。

マイク牧師：素晴らしいですね。皆さんご参加くださり、ありがとうございます。では、お祈りしましょう。主なる神よ、ありがとうございます。あなたのみことばを掘り下げて、バリー牧師とアミールの考えに触れて、多くの人々が抱えている懸念や疑問に答える機会を与えてくださいました。これを、あなたの栄光の時とし、人々が、あなたのみことばに自信を持って、立ち去る事が出来ますように。そして、この時代の中で、私たちが今どこを生きているのか、さらに明確にしてくださいますように。主イエスの御名によってお祈りします。

アーメン。

アミール：アーメン、アーメン、皆さん、ありがとうございます。さて、マイク牧師、司会をお願いします。今、コメント欄に質問が流れています。そしてバリー牧師と私は、これから40~50分間に、出来るだけ多くの質問に答えられるようにベストを尽くします。では、先に進めてください。お願いします。

マイク牧師：はい、進めていく上での、いくつかの基本的なルールがあります。今、たくさんの方がいるので、質問を限定していきたいと思えます。それをやっても、まだ質問が山ほどありますから、免責表明しておきます。すべての質問にお答えする事は出来ません。共通のテーマに集約します。そして、皆さんには、聖書や聖書預言に関する質問をお願いします。そうしていただくと助かります。では、前置きはそれくらいにして、最初のご質問は、

Q：黙示録に出てくる二人の証人は、いつ登場するのか？

アミール、まずはそれから始めますか？

アミール：はい、ええ、そうですね。私が見ているのは、2人の証人は、7年間の患難の前半3年半の間に、そこにいます。そして、彼らを取り去られるのは、7年間の患難のちょうど中間です。そして、次の段階に進みます。次の段階では、14万4千人が福音を宣べ伝えます。ですから繰り返しますが、皆さんと私が、彼らを見る事はありません。私たちは、7年の患難が始まる前に連れ去られます。この2人が誰なのか、私たちに分かりません。私たちが知っておく事を神が望んでおられるなら、神は私たちに名前を与えていた筈です。しかし、彼らが活動している期間、間違いなく神殿がエルサレムに立っていて、そしてユダヤ人は、ここが神の神殿だと思って、礼拝しています。もちろん彼らは、世界の指導者が彼らを完全に騙して、後にひるがえって、自身を神として宣言する事を知りません。これが私の答えです。

マイク牧師：素晴らしいですね。バリー牧師、何か付け加える事はありますか？

バリー牧師：私は、この二人が、基本的に旧約聖書の時代に関連した賜物を行使しているのが面白いと思います。空を閉じ、火やこの性質のものを呼ぶ。しかしまた、私たちが思い出すのは、技術的に明らかに全世界が彼らの死を見て、彼らの死を喜び、そして世界が同時に、彼らが天に昇っていくのを見るのです。その事から分かるのは、私たちは現在、技術的にそれが可能である、という事。少なくとも、衛星や何かを使っ

て、世界中の人が目撃する事は、現在すでに行われています。だから、アミールが話していたタイミングにも同意します。候補者が誰なのかは、ちょっと気になるところです。多くの方が、こんな風に言っているのも知っています。「過去に死んだ事がない人が2人いる。エノクとエリヤは取り上げられた」しかし、その主張は基本的に間違いであると思います。事実、死を味わう事なく、超自然的に神の御前に移される世代があります。そして、私たちはその世代だと思えます。だから私たちは、上を見上げなければなりません。贖いが近づいていますから。

アミール：マイク、ちょっと面白い話をしたいと思えます。数年前に、ジャン・マーケルのカンファレンスで、教え終わった後、私は講堂の外に出て、教会の建物から出て行きました。すると、誰かが私を追いかけるように走って来て、そして最終的に、彼は私を捕まえて、こう言いました。「話があります」だから、私は「何ですか？」と言うと彼は言うのです。「あなたは2人の証人の一人です」言うまでもなく、私は彼に丁寧に挨拶して、そして、彼に伝えました。「あの…、私の知る限り、そして私の中では、大患難の前半3年半の間、私はここにいる予定はありません。私には、この2人の証人のうちの1人になる予定はありません。」しかし多くの方が、2人の証人の正体について非常に混乱しています。私は、チャック(スミス)牧師が私たちに教えてくれた通り、聖書が沈黙しているところでは、おそらく私たちも沈黙すべきだと思います。

マイク牧師：はい、確かに。私たちは二人の証人ではありませんが、一般的に私たちは、イエスの救いの力の証人です。ダンが非常に興味深い質問を書いてくれました。私はこれを聞いた事がないので、言及する価値があります。

Q：信者である親が携挙されると、取り残されるティーンエイジャーや子どもたちはどうなりますか？

これは、どうなのでしょう？彼らは責任能力の年齢を過ぎているのでしょうか？バリー牧師は、どうですか？これについてお話しください。信者ではない我が子たちは、我々が携挙されると、どうなりますか？

バリー牧師：私は、彼らに責任があると思えます。基本的には、取り去られるか、または取り残された原因が自分にある事を理解する認識能力はあると思えます。親の世話を必要とする小さな子どもは、親なしで取り残されるとは思いません。これは議論の的となっている問題です。第一コリント7章に基づいて、家庭内に信者の親がいれば、家庭が聖化されるため、信者の子どもは連れて行かれ、信者ではない子どもは取り残される、と言う人がいます。しかし、繰り返しになりますが、先ほどアミールが言ったように、これについて明確な言及がないため、いくつかのものに頼らざるを得ないと思えます。1)私たちは、神のご性質を信頼しなければなりません。そして、私たちは、主が私たちに伝えてくださった事実を信頼するのです。私が思うに、特にダビデ王を通して。彼は、息子が亡くなった時、息子は自分のところには来ないが、自分は息子のところに行くと言っていました。つまり、死んだ息子が行った場所に、ダビデが行くという事です。そしてそれは、幼少期に死んだ子どもが天国に連れて行かれる事を、ダビデが理解していた事を物語っています。そこから、責任能力のない年齢の者についての主張が出来ます。ある人たちは、少年少女のバル・ミツバと、バト・ミツバの年齢が責任能力を分ける年齢であると言います。私は、それが本当かどうかは分かりません。しかし私たちは、神のご性質を見て、認識しなければならないと思えます。例えば、2人ともが信者である両親に2歳の子どもがいて、信者の両親が携挙された後、その子が取り残されれば、その後起こるトラウマ、その他を想像してください。私には分かりません。この聖句があるとか、ここに決定的な答えがあるとは、私には言えません。しかし繰り返しますが、私たちは神がどういうお方で、神がどのように働かれるかに頼るしかないと思えます。

アミール：そうですね。また、思い出して欲しいのは、イエスの言葉です。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。神の国はこのような者たちのものなのです」(マルコ10章14節)これは非常に重要です。イエスは、子どもたちの事を本当に思っておられましたから。弟子たちでさえ、イエス程に、この子たちを思いやる心はありませんでした。そして主は、こんな風には特定されていません。「クリスチャン家庭の子以外には手を出さな、話しかけるな、付き合うな」私は一般的に、子どものように、一生の決断を下せる

程、成熟していない無力な人には、神は慈悲深く、確実に集めてくださるのではないかと思います。しかし繰り返しますが、バリー牧師が言ったように、子供の事に関しては、私たちは、必ずしも聖句ではなく、旧約、新約聖書の両方のメッセージの心に結びつけるべきだと思います。

マイク牧師：はい。次は、その補足的質問です。

Q：幼い子どもたちが死んだら、どうなるのか？彼らは、どこに行くのでしょうか？

そして皆さん、ここに居る私たちは、バリー牧師が明言したように、子どもや幼児は、天国で主と一緒にいると信じています。それがダビデの信条であり、イエスが来られるずっと前でした。もう一つ、大患難期に関連した質問です。今回、この質問が多く来ています。ドナが次の質問をしています。

Q：実際の携挙の前に、どれだけの苦難の期間や患難が起こるのでしょうか。携挙の時までにやってくる“患難”と、本当の“大患難”とを、どのように見分けるのでしょうか。

アミール：イエスはこう言われたと思います。「あなたがたは、世にあっては患難があります。)(ヨハネ16章33節) ”どれぐらい”とは書かれていませんが、一般的な前提として、この墮落した世界での信者の人生は、この恐ろしい世界で、多くの患難が待ち受けている。そして、現実を直視してみましょう。ここはもう、私たちの家ではありません。私たちの家は、天国にあります。また、私の人々に言うのは、「大患難が始まり、反キリストが現れる頃には、私たちは、ここを離れなければならない」まさに第二テサロニケにあるように、戦争が行われる前に、キリストの大使は故郷に呼び戻されなければなりません。つまりポイントは、それまでは、その時まで、それは日常です。時には、少ない人もいれば、多い人もある。しかし、私に言えるのは、私たちに求められているのは忍耐と辛抱、そして私たちが持っている祝福された希望にしがみつこう。ほら、問題はそこなんです。私たちの周り全てが暗く見えなければ、祝福された希望と、私たちが持っている希望にしがみつこう意味がありますか？もう一つの事は、コロサイ人への手紙3章が告げる通り、「こういうわけで、あなたがたはキリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。地にあるものを思ってはなりません。なぜですか？

なぜなら、一旦、私たちが与えられている約束を見失って…御父の右の座についておられるイエスが、私たちのために執り成してくださっているのです。彼が来て、主がおられる場所に私たちを連れて行ってくださるという約束を。そして、周りの事ばかりに目を向けていると、私たちは弱くなったり、不安になったりします。つまり、良いニュースは希望がある。私たちの神は、契約と約束を守ってくださる神です。悪いニュースは、状況は悪化する一方で、良くなる事はありません。私たちは、イエスが戻って来るために、この場所を準備するわけではありません。イエスが、私たちが上に行って住むための場所を用意してくださっています。ここは私たちの家ではありません。これは、私たちのものではありません。そして、ここにいる限り、私たちは多くのトラブルや困難や患難に耐えなければなりません。そして、それは信者の人生の一部です。

マイク牧師：その通りです。各国の大使が、その国が戦争を起こす前に召還される話は良いですね。だから世俗的なモデルでさえ、実際の戦争の前には、自国民を連れ戻します。バリー牧師、患難と携挙の時期について、何か付け加える事はありますか？

バリー牧師：ヘブル人への手紙10章25節に書かれていた事を思い出すと、その日が近づいている事がわかります。そして「かの日」とは、ヘブル的にはダニエルの第70週です。具体的には、大患難の後半の“ヤコブの苦難の時”に適用されると言う人もいます。しかし、それはクリスチャンである私たちが、大患難の前兆を垣間見る事を告げています。私たちは取り除かれるので、究極の成就を見る事はありません。大患難が始まる最大のしるしは、教会が取り除かれる事です。しかし、もう一つ、私たちが認識しなければならないのは、パウロが第二モテ3章でモテに書いたように、困難な時代が来る、それは基本的に人間性の墮落の数々です。多くの人々の愛が冷たくなる事や、神を敬わない事、イエスは、地上に暴力が満ち、ノアの時代

のようになると言われました。これらの事すべてが、完全に成就される時代へと導くのであって、私たちは今、かの日が近づいているのを見ています。そしてアミールが言ったように、私たちは墮落した世界に住んでいます。罪が私たちの人生に影響を与え、クリスチャンは病気になる。クリスチャンは、この人生において、世界の人々が遭遇する多くの苦しみに遭遇します。これらは基本的な患難であり、いくつかは、キリストを信じる私たちの信仰と直接関連します。イエスが言われたように、「あなたはわたしの名のために、すべての人々に憎まれます。」だからそこに関係性があるのです。しかしアミールが言及したように、イエスは仰いました。「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」大患難の間は、陽気(勇敢)になる事はありません。世界中で大規模な激変が起こって、命がけの時代になるのです。ですから、私たちの患難と大患難の間には、聖書的に区別があります。

アミール：そうですね。

バリー牧師：私たちは主の御名のために憎まれ、迫害されます。それは、キリストを信じる者としての、この墮落した世界での生活の一部です。

マイク牧師：お二人が、どんな種類の患難の中でも、イエスを焦点としているのが良いですね。主が、嵐の中で私たちを導いてくださいます。

アミール：はい。アドリーからの質問です。これも大患難の期間に関連したものです。いえ、今もそうかも知れません。

Q：パウロがローマ人への手紙の中で「こうして、イスラエルはみな救われる」と言っていますが、それは「すべて」という意味で、大患難の出来事はないのですか？

アミール：私が思うに、その“皆”の意味は、大患難の終わり、主が戻って来る時にそこにいる“皆”です。理解しなければなりません。裁きが起こり、そしてイスラエルに問題が起こります。そして、7年間の大患難の終わりには、異邦人の国々に裁きが下されます。もちろんゼカリヤ書13章でさえ、告げています。「その三分の二は断たれ、死に絶え…その三分の一を火の中に入れ…」(ゼカリヤ3章8節から9節)彼らはそこに居て、多くのユダヤ人が反キリストに騙されます。多くの人が、恐らく獣を礼拝して、獣のしるしを受けるでしょう。つまり、所属によって救われるとは言えません。「あなたはユダヤ人だから、それだけで、あなたは永遠に安全。」そうではありません。キリストを信じる事が条件である事を、忘れてはいけません。そして私たちが知っている通り、反キリストの欺瞞(きまん)に反対する者は逃げ出すのです。神は彼らのために、3年半、1260日間にわたって砂漠に場所を用意されます。そして、イエスが彼らを連れ戻され、彼らは、自分たちが突き刺した者を受け入れます。だから、見ての通り、主がご自分の民の所に戻って来られ、彼らは主を受け入れる。しかし、それは獣を崇拝せず、しるしを受けなかった人だけです。また、メシアが来る事を期待している者たち。そうです。イエスが再臨し、地上に戻って来られた時に、すべてのイスラエルが救われるのです。主を受け入れるイスラエルが、救われるイスラエルです。基本的にはそういう事です。

マイク牧師：その通り。バリー牧師、何か追加する事はありますか？

バリー牧師：ええ、イエスがニコデモと交わした会話を覚えておく必要があると思います。イエスはニコデモの事を「イスラエルの教師」とまで呼ばれました。これは著名なラビで、他の人を教えた人で、イエスは彼に言いました。「頼むよ、ニック！あなたは新しく生まれなければならない事を知らないのか？」あなたは当然、水によって生まれなければなりません。その後、同様に霊的に生まれなければなりません。その事が、神と教会の契約から逃れる、神とユダヤ人との間の“二重の契約”がない事を告げています。そして、この図は、過ぎ越しの祭りの中で、とても美しく描かれています。血を塗る、すると死があなたを過ぎ越し。現代の人にも同じ事が言えます。血を塗れば、二度目の死はあなたの上を過ぎ越し、永遠に神とともに生きる事が出来ます。

アミール：はい。

マイク牧師：なるほど、素晴らしい。マージの質問です。

Q：私たちは、ダマスカスの破壊を見ると思いますか？

アミール？

アミール：それは、非常に良い質問です。このダマスカスの破壊が、エゼキエルの戦争に火をつけるマッチになると、私は思います。そして、我々がそれを見る可能性は、非常に、非常に高いです。そして多分、その直後、戦争が始まる前にいなくなるでしょう。繰り返しますが、私には分かりません。私は預言者ではありませんから。しかし私が思うに、まだ起こっていない終末の戦争や出来事、全ての中で、私たちが見る可能性が高いと思うのは、これでしょう。

マイク牧師：はい。

アミール：他のものは見ないと、私は、かなり確信しています。

マイク牧師：確かに。バリー牧師、我々はダマスカスが破壊されるのを見るのでしょうか？

バリー牧師：可能性は非常に高いと思われます。また、興味深い事に、事実、ダマスカスは、エルサレムが、イスラエルとユダヤ人全体を表す慣用句としてよく使われるのと同様に、ダマスカスも、シリアという国を表す慣用句として、多く使われています。そしてここでは、ダマスカスが、具体的にダマスカスの町として言及されています。そしてダマスカスの中には、毎日のようにニュースになっている国家がいます。つまり、そこにペルシャ、ロシア、トルコが集まっていて、エゼキエル書の38～39章に名前が挙がっている国々が全て、ダマスカスを首都とする国にいます。だから、そこに役者が揃っています。また重要な事、この質問も少し聞かれますが、「携挙と大患難の始まりの間には、期間があるのでしょうか？」私たちはそれに関する確固たる情報がありません。しかしイザヤ書17章が成就すると、ダマスカスは廃墟となり、そこからイスラエルの北の国境に集まっている国々が、今度は一緒になって言うのかも知れません。「なあ、なんとかしなければならぬ。今がチャンスだ。」とか何とか。それによって、イスラエルへの侵攻と、そこに名前がある連合戦争をもたらす事になるでしょう。我々がそれを見る可能性は、非常に高いです。そして携挙が起こり、その後にエゼキエル戦争が起こります。でもそれは、その可能性のあるシナリオであって、私たちがそれを見ないのは確実です。

アミール：マイク、覚えていますか？シリアは、エゼキエルの戦争では言及されていません。だから、シリアはもはや主権国家として存在しなくなる、というのではなく、そこは主権を失い、完全に破壊されて、イスラエルに襲いかかって来る敵の一部になれないのです。そして、我々はまた、思い出さなければなりません。エゼキエル戦争のような壊滅的な戦争は、2つの事に繋がる可能性があります。イスラエルを援護出来ない、アメリカの衰退。それと「新しい」旧ローマ帝国からの反キリストの台頭。それ以前に、それらが起こるとは思えません。私が思うに、彼がもたらす平和は、エゼキエル戦争のような恐ろしい戦争の後に必要とされる平和でしょう。繰り返しますが、我々がここを出る日がいつなのかは分かりませんが、反キリストが台頭して平和をもたらすためには、その前に事態が悪化しなければなりません。

マイク牧師：ええ、面白いです。今は間違いなく、あちらでは舞台が整っていますね。次も良い質問です。

バリー牧師：マイク、ちょっと聞いても良いかな。

マイク牧師：どうぞ、どうぞ。

バリー牧師：アミール、あなたは、これは他の事に繋がる“きっかけ”だと指摘していましたが、私も、これが神殿を建てるきっかけにもなる可能性があると思います。なぜなら、(1)この、イスラエルに対する侵攻があり、そして侵略者に対する、神のご介入があります。彼らは破壊され…(判読不能)そしてイスラエルが神殿を建てたいと言った時に、誰がそれに異議を唱えるでしょうか？この侵略軍に神が対応されたのを見た直後です。だから私は、これが大いに作用して、世界が最終的に言うのだと思います。「なあ、“イスラム教

の神殿の丘”と言う考えを捨てて、ユダヤ人に神殿を建てさせよう。」それはエゼキエル戦争の全貌に関する別の可能性、構成要素です。

マイク牧師：興味深い、非常に興味深いですね。ええ、間違いなく、これらの時代を生きています。ジェリーからの質問です。

Q：ミステリーバビロンとは何ですか？何か見識がありますか？

アミール、ミステリーバビロンとは？

アミール：まず第一に、“バビロン”は特定の地理的な場所である以上に、霊でもあります。そして忘れてならないのは、バビロンの霊は継続していて、ここにいます。ここから出ていません。ヨハネの黙示録で聞いた事を思い出してみてください。様々な動物の部位を持った獣、それは全ての要素が含まれているからです。それは、ダニエルがわざわざ書いていた、過去の異なる王国の、すべての霊的な側面を表しています。だから、バビロニアの霊がそこにあるのです。次に、ミステリーバビロンは興味深いものです。ギリシア語の「ミュステリオン」という言葉は、ずっとそこにあったが、我々はこれまで見た事がなく、そして今、私たちが理解しているものです。だから明らかに「ミステリー」という言葉を抜きにして「バビロン」と言った場合、それは現代のイラクであると結論づけるのは簡単です。しかし「ミステリーバビロン」と単語を追加するとルールが変わり、同じ霊を持つ他の場所、別の場所になります。そして、それはずっと前から同じ霊を持っていたが、以前は、まさかあの場所だとは思わず、今になって分かる場所です。それが、聖書の中の「ミステリー」です。正直に言うと、繰り返しますが、マイク、「ミステリー」がある時、そのいくつかの謎が明らかになるのは、我々がここを出てからです。その場所について、地理的にこだわるのは、それほど重要だとは思いません。私たちは、もっと霊的な側面を見なければなりません。覚えていてください。バビロニアの霊は、ただの都市よりもずっと重要です。

マイク牧師：非常によくまとまっていますね。バリー牧師、ミステリー・バビロン？

アミール：ごめんなさい。その前にバリー牧師、一つ言わせてください。こんにちベルリンには、ベルガモン博物館があって、その博物館には、バビロンから来たイシュタル門があります。ネブカドネザル自身が「その上に青い色の石を乗せて作った。」と言っていた門です。私が言いたいのは、バビロンはずっと前に西ヨーロッパに輸入されています。ですから私たちが目にしているのは、かつては、あちらにあった多くのものが、今は生きており、実際、新しい「旧ローマ帝国」として復活する古代ローマ帝国の領土にあるのです。だから、ごめんなさい、どうぞ、バリー牧師。

バリー牧師：私が思うに、忘れてはならない重要な事は、バビロンには、聖書の中で二つの大きな意味があります。そして、それは二つの事を指し示しています。1)バビロンは黄金都市として知られていました。そこは大富豪の街、そこには世界の驚異があり、他にも、それ自体が世界システムに関わるものがあり、後に破壊される、大患難時代の世界商業システムを連想させるようなものがありました。そして、地上の商人たちが遠く離れて立ち、言います。「このシステムが破壊された今、誰が私たちの商品を買うのだ？」そして、もう一つ覚えておかなければならないのは、“バベル”は、神から離れて天に届こうとした過去を指し示している点です。人間が自分の働きと努力によって天に昇る事で、基本的に過越の小羊の血の必要を抹消しようとする試みです。そして、そこには偽りの宗教システムがあり、それは大患難の時代にも存在します。バビロンは繁栄だけでなく、これから起こる偽りの宗教制度を思い起こさせます。そして、その特定の名前の使用に関して指摘されているのが、この「ミュステリオン」の一部でしょう。

アミール：私はまた、これからダニエルを教えるために勉強しているのですが、ダニエル書3章を思い出してください。ドラの平野にネブカドネザル王が^{こんりゅう}建立した黄金の像は、あなたはバビロンの事を話していて、私たちは、ずっと昔の話をしています。そして私たちが話しているものは、高さが66キュビト、幅が6キュ

ビット。その数字6は、その彫刻の寸法に3回表示されます。もちろん人間を表す数字を見ていて、それを拝まなかった人たちは、実際に燃える炉に投げ込まれました。つまり、あなたが・・・ところで彼は、王国に存在する全ての宗教団体を招待したのです。それは、当時の世界統一宗教を作る試みでした。そして、もしそれをしなければ、その場で死ぬのです。もちろん、それは当時のバビロンであり、将来反キリストが行う事の見込みです。だから私が言いたいのは、古代バビロンには、黙示録に出てくる未来を予見し、語るものがたくさんあったのです。そして、それがミステリーバビロンの一部です。それは具体的に当時のバビロンである必要はなく、それと同じ霊です。同じものです。そして、私たちはそれを見ていて、非常に驚きです。

マイク牧師：ええ、それは本当に魅了されます。非常に多くの種類がありますから。ダニエルが経験した事が、現実的に黙示録のバビロンになる。お二人共、とても明確にしてくれました。これはおそらく聖書全体の観点から見た、バビロンの最も簡潔な説明の一つでしょう。ありがとうございます。神殿について、2つの質問があります。これは、よく聞かれる質問の一つです。

Q：神殿が、現代の神殿の丘に位置していなかった可能性はありますか？

“イエス”か“ノー”かの質問のようです。

アミール：“いいえ”です。

マイク牧師：あなたはツアーガイドの訓練を受けて、そこで考古学全体を学んでいますね。

アミール：答えは“いいえ”。それは不可能です。神殿がどこにあったか、私たちは知っています。私たちは、神殿の周囲に非常に多くの遺跡を見つけました。良いですか？私は出来るだけ穏やかに、優しく言いますが、しかし人々にゴミを売り、人々に本を売っている無責任な人々がいます。そして、そのどれ一つとして、私たちが地上でつけた考古学的証拠に基づいていません。それが私には耐えられないのです。私が耐えられないのは、彼らがイスラエルに人々を連れて来て、彼らは人々をダビデの町に連れて行きます。そこに神殿が立っていた可能性は、全くこれっぽっちも無いのに。ところで、神殿があった場所に関する旧約聖書のすべての説明で、それらはまたミロについて語り、オペルについても語っていて、そしてダビデの町があった場所についても語っていますが、ダビデの町と神殿の丘は同じではありません。ダビデの町からオペルまで、ずっと上がる必要がありました。“オペル”とは“上がる”。ずっと続けて上がらなければなりません。私たちはまた、ヘロデ神殿の擁壁を見つけました。私たちは、ユダヤ人が、こんにち岩のドームのある場所で嘆き悲しんでいる証拠があります。なぜイスラム教徒は、あそこに岩のドームの建設を決めたのだと思いますか？元々、ユダヤ人の集団がそこで会って、神殿の破壊を嘆き、泣いていたからです。そして、イスラム教徒が西暦691年に岩のドームを建てたとき、彼らはユダヤ人を雇って、かつて人々が神殿で着ていたように白い衣を着て、そこをきれいにさせたのです。そこをイスラム・バージョンとしてソロモン神殿と同化させる為に。良いですか？神殿が、今日岩のドームが立っている場所にあったという証拠は、たくさんあります。ところで、その北に神殿があったのかも知れないという仮定は理にかなっていません。ところで岩のドームの北に空き地があって、そこで彼らはまた、石を見つけました。ある人たちは、そこが至聖所の一部であった可能性があるかと信じています。それは今日の東門とも並び、一部の人は、そこが場所かも知れないと示唆しています。そして岩のドームの北に第三神殿建設を可能にするかも知れない、と。岩のドームを破壊する必要さえない、と。私が言いたいのは、皆さん。エゼキエルの戦争に戻って、神がその戦争に、どう勝利されるか見てください。彼は天から何を降らせるのでしょうか？

そして、「イスラエルの敵への神の対応」が始まる、この地震がどのようなものか。そうすれば、神殿が建つために岩のドームが消えるかも知れない、という答えが出るでしょう。最終的に反キリストがそこに立ち入り、自分自身を神と宣言します。

マイク牧師：ありがとう。非常に明確で情熱的な答えでした。長年の研究、考古学と事実に基づいています。バリー牧師、何か追加する事はありますか？

バリー牧師：アミールが、キリストが戻る場所との関係を指摘したのが良いですね。彼は戻って来て、彼の足はオリーブ山に降りて、その後、彼は東の門から入られます。これらの2つの場所の関係が告げています。彼が今指摘した場所以外に、本当に神殿の候補地はありません。一部の人々は、外の広場の測定不足や、他にも色々と言いますが、しかしアミールが今指摘したのは、第三神殿のための最終的な場所です。もう一つ言わせてください。私はアミールと一緒にいる時に、何度も言って来ましたが、しかし彼がそれを言うのを初めて聞いた時、私は本当に衝撃を受けました。ほら、私たちは皆、神殿研究所を通して大祭司の衣や、礼拝の実演や清めの器、その他すべてを見てきました。それは素晴らしくて、私たちはそれについてワクワクし、支援したい。そこへアミールと一緒にカンファレンスにいた時、1つの事を指摘したのです。「それは反キリストの神殿だ。私は個人的に反キリストの神殿に資金を提供したくない。」私たちは、神殿が建つ事を知っています。彼が至聖所と呼ぶ場所で忌むべき事が行われますから。だからそれについて疑問はありません。そして、かつて神殿があり、将来的に建つ場所に関して、疑う余地がないという意見にも同意します。ところで、それらの“ヘロデの石”は、本当に見事です。私は、あれほどのものを見た事はありません。一体全体、どうやってこれらが動いたんだろうかと思えます。本当に見事です。

マイク牧師：ええ、あれは見事です。次はフォローアップの質問です。ミリアムが神殿に関して尋ねています。

Q：私たちは、第3神殿の建物を見ますか？

マイク牧師：バリー牧師？

バリー牧師：いいえ。

アミール：私は2番目の“いいえ”を追加します。その理由は非常に簡単です。反キリストが、ユダヤ人が神殿を建てる事を許可しますが、私たちは、その時ここに居らず、反キリストを見ません。それは欺瞞きまんの一部であり、試練の時、イエスが私たちをそこから連れ出すのであって、そこを通らせるのではありません。だから、いいえ、私はそうは思いません。このために私は、なぜ私たちがいつも第三神殿が建つ場所をめぐる争うのか、理解出来ないのです。ユダヤ人自身が、それは現在ドームがある場所になると既に決定しているのです。そして、彼らはすでに第三神殿の青写真を持っています。そして、彼らはすでに世界のリーダーが現場に現れ、神殿を建てる事を可能するのを、辛抱強く待っているのです。聖書がそれが起こると言っているのですから、私たちは、それを疑う事さえ出来ません。そして地上のすべてのプレイヤーが、そのための準備をしているのです。だから、私たちはそれを見る事はありません。

マイク牧師：ええ。はい、ありがとうございました。これも、良く尋ねられる質問です。アマンドの質問です。

Q：黙示録の第7番目のラッパの裁きと、最後のラッパをどのように区別するのですか？

これは、「患難中期携拳」説の正当化に用いられているものだと思います。良いですね？最後のラッパと、黙示録の7番目のラッパを、どのように区別するのでしょうか？

アミール：バリー、何か言いたいですか？

バリー牧師：ええ。まず第一に、患難全体が御怒りである事を認識する必要があります。第二に、それは神の破壊的な御怒りに関連します。イエスの言葉によると、「預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす憎むべき者』」の後です。しかしそれは、神の御怒りが、そこから始まるという意味ではありません。私が信じるに、すべての期間、神の御怒りが実際に始まるのは、神の結果的な怒りは、彼が反キリストの台頭さまたを妨げるのを止めた時に始まります。反キリストは邪悪な悪魔に力を与えられた人物で、神の御言葉を信じ、イエスの証しを持っている者全員を破壊しようとしてます。それは、すぐに。大患難に入みにくってすぐに見られます。それらの封印が解かれ始めるとすぐに四頭の馬が世界の舞台に現れ、物事はすぐに醜みにくく、壊滅的になります。だから私は、全体が神の御怒りであるという事で、「患難中期携拳」の可能性を排除すると思えます。

それと、「患難後期携挙」説も。私たちは御怒りに遭うようには定められていませんから。そして第二に、ラッパは合図である事を忘れてはいけません。それらは明確な音を出します。そして第1コリント15章で吹かれるラッパは、テサロニケの教会に語られたように、私たちとキリストにある死者にとって、ヨハネが黙示録4章1節で言われたように、「ここに来なさい」という合図になるのです。ですから、第一コリント15章にも、テサロニケ人への手紙にもあるからと言って、そのラッパが大患難の期間中に吹かれる7つのラッパの内の最後のラッパだ、とは言えません。そのラッパの合図は、大患難の終わりではなく、教会時代の終わりを示しています。

アミール：私は混乱だと思います。その質問をしたのはアマンダですか？「最後のラッパ」という用語に関する混乱です。もちろん、さまざまな目的で様々なラッパがあります。そして問題は、私たちがそれらを混合して、1つだけだと判断し、したがって、それでなければならぬと言い始める時です。そうすると、問題があるのです。第一テサロニケ4章と、第一コリント15章の両方で、パウロが携挙と、私たちが変えられなければならないという事実に言及し、彼が最後のラッパに言及したとき、彼は、それと大患難を全く関連づけていません。実際には、反対に第一テサロニケ4章で、パウロは、それが彼の生涯で起こる事を確信しています。彼は、大患難について一言も言わなかった。実際、彼らが不平を言った唯一の事は、人々がそこで死に始めた事です。そして、自分たちは死なないと思ったのに、どうして？と思ったのです。だから彼は言ったのです。「いや、あなた方は分かっていない。希望を失わないで！希望のない人のようになってはいけません。キリストにあって死ぬ人たちは、死んだのではなく、眠っているんだ。」彼は、大患難や鉢、ラッパ、封印について言及もしませんでした。彼はただ、私たちが持っている祝福された希望について話したのです。そしてバリー牧師が言ったように、最後のラッパの言及は、教会時代の終わりとの関係がありました。それから覚えていますか？もう一つラッパがあります。ラッパの祭り。ラッパの祭り、イスラエルのすべての祭りは、キリストを通して成就されたか、または成就されます。そしてそれはイスラエル国内で、またはイスラエルに関して成就されるのです。私は個人的に、私たちと一緒に来るイエスの地上再臨が、ラッパの祭りになると信じています。私が信じているのは、そこにいるユダヤ人たちが、主として彼(イエス)を受け入れ、それから贖罪の日が来ます。その時、彼らは悔い改め、彼らは悲しみ、彼らは泣き、そして次に仮庵の祭り。これは、キリストが私たちと共に住まわれる千年王国です。ですからポイントは、黙示録に7つのラッパがあるからと言って、携挙されるには黙示録の第7のラッパまで待つ必要がある、と仮定する事は出来ません。その話のたびに…、ところで、こんな事を言って申し訳ないですが、なぜパウロは、“7番目”と言及しなかったのですか？彼はコリントやテサロニケで「最後」と言い、ラッパの数には触れませんでした。彼は、そう言う事も出来たでしょう。ポイントは非常に簡単です。それらを混同してはいけません。それらは同じではありませんから。3つの異なるものがあります。イスラエルには、彼ら自身のラッパの祭があり、それから、神が吹くラッパがあります。ところで、ラッパは天で鳴るのです。私たちがここから出る時に聞くラッパは地球上ではありません。そしてもちろん、黙示録の大患難の7つのラッパがあります。これらは3つの異なるものですから、それらを一緒にしてはいけません。

マイク牧師：はい、お二人共、聖書解釈の根本的な失態を指摘しました。1つの単語を取って、多くの意味の異なる文脈にそれを無理やり当てはめると、そこからは混乱と見当違いの神学が生まれる事は、想像がつかます。ですから、その質問に答えていただきありがとうございます。アマンダ、これを質問をしてください、ありがとうございます。素晴らしい質問でした。ジーノが尋ねています。

Q：7年間全部が、神の御怒りであるなら、なぜ私は大患難の前半は、地球上で全てが上手くいっているという印象を受けるのですか？

私が思うに、ジーノ、あなたが言っているのは、なぜ後半の3年半は、前半よりもはるかに恐ろしいのか？なぜでしょうか。バリー牧師、そうですか？

バリー牧師：まず、1)導入に、世界の舞台に白い馬に乗って反キリストが登場します。それから繰り返しますが、神の結果的な御怒りと、神の破壊的な御怒りを区別しなければならないと思います。大患難の後半は

神の破壊的な御怒りであり、これはエジプトが神の民を行かせなかった時に、神が対処されたような方法で、直接対処されます。そして大患難の後半で、似たような多くのものを天から降らせ、神ご自身が全てを統制されます。そして、これで神の御怒りが極みに達する事を忘れてはいけません。大患難の期間に、他者に苦痛を課す男の登場によって、物事が増大します。これまた、完全に世界をノアの時代のようにします。人の心に計る事がみな、いつも悪い事だけに傾き、地球は暴力に満ち、その期間、地球の獣が人々を殺します。大患難の最初の部分では、別の種類の御怒りを見ます。それでいて大量の人が失踪する為、そして生き続ける事を望む人々がいて、そして、人々が求めている平和と安全を得なければならない聖徒たちがいるでしょう。そして、世界的な商業を監視するシステムが求められ、そのための技術は、すでに存在します。しかし前半部分は、大患難の後半部分で見られる程度ではないにしろ、まだ神の御怒りです。鉢がぶちまけられた時に言われた言葉を思い出してください。ヨハネが、「神の激しい怒りはここに窮まるのである」と書いています。だから、彼は明らかに、それ以前にあったものが神の御怒りである事を示しています。しかし、それは地球に注がれている鉢の最終段階まで上昇し、イエスが戻って来て戦われ、ご自身でそれを終了されるのです。ですから、「悪行の報い」これが神の御怒りの形であり、それは結果的な御怒りです。「人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。」(ガラテヤ6章7節) 「彼らは風を蒔いて、つむじ風を刈り取る。」(ホセア8章7節) そして、これは世界が早い段階で経験する多くの事です。彼らがキリストを拒絶したために、教会が取り除かれると、不法の者が台頭し、彼は権力を得て、そして全世界が彼の後に従います。破壊的な出来事の真っ只中でさえも。さて、私たちはまた黙示録13章には、必ずしも私たちが聖書を通して目にしている、厳格な時系列がない事を認識する必要があります。概要が示され、それから次に詳細の予告があるというように。しかし、私たちは、そこに特定された時系列がある事を知っています。封印が解かれ、そして7番目の封印に続いて、ラッパが順番に起こります。そして7番目のラッパで、鉢の裁きの幕開けです。ですからこれらの出来事の間には間違いなく繋がりがあって、それらが展開するにつれて、それらの間で順番に起こります。ですから、繰り返しますが、全体が神の御怒りである事を覚えておかなければなりません。そしてアミール、あなたはまた言語、ヘブライ語では、全体の7年間が同様に神の御怒りであると指摘していましたね？

アミール：その通りです。ヘブライ語の単語「憤り」という言葉は「ザーム」で、これは「怒り」です。そしてダニエルは、「憤り」の後半部分について話すとき、彼は神の御怒りの後半部分、後半の3年半について話しています。だからヘブライ語では、それはまた理にかなっています。しかし私はまた、はっきり明確にしたいと思います。マイク。私たちがここから出るとき、人々は妄想に明け渡されるのです。人々は、必ずしも、すぐにその場で死を見る事はありません。私たちが、ここから出て行けば、彼らは祝います。彼らは、彼らが望むものは何でも出来るという事実を祝うでしょう。そして、多くの悪を見ます。私たちは多くの邪悪を目撃します。私たちは、多くの不義を見ます。私たちは、これまでに見た事がないような、多くの事を見ます。このように言いましょう。今日の世界の悪すべてが、私たちがここから出ると増強されます。これがまさに、聖霊が“引き止めるもの”と呼ばれる理由です。まさに起ころうとしている事を引き止めますから。邪悪な事が行われているために来る、神の裁き。そして、それはサタン自身が出来る事です。引き止めるものが取り除かれると、サタンは、彼が最もよく知っている事を行います。私たちが知っているように、彼は盗み、殺し、破壊し、国家を欺くのです。それは恐ろしい事になります。しかし一部の人々にとって、それはひどく見えないかも知れません。なぜなら、彼らはそれを選ぶのですから。それが彼らの望みです。覚えていますか？ 「なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。」(第二テサロニケ2章10節から11節) だから、確かに彼らは良い事だと思ふかも知れません。しかし、実際には悪です。はい、彼らは素晴らしいと思ふかも知れません。しかし実際には恐ろしい事です。だから…質問した人の名前を忘れましたが、はい、これらの7年間の前半の段階と後半の段階には区別があります。しかし、それらの全てがひどく、それらの全てが恐ろしいです。まさにバリー牧師が言ったように、後半部分で神がご介入され、彼が牛耳られる事は非常に明確です。一方、最初は、人々は結果的な裁きに苦しむのです。しかし繰り返しますが、その全ては恐ろしく、間違っていて、不義であり、邪悪です。

マイク牧師：ええ。その質問をしたのは、ジーノでした。ありがとう、その質問に感謝します。アミール、あなたに非常に良い質問です。これは、マイケルからです。

Q：アミール、あなたはユダヤ人のルーツを持っていますが、ユダヤ人の妬みを引き起こす、最善の方法は何ですか？イエスを信じるユダヤ人として教えてください。

アミール：まず第一に、どんなユダヤ人であれ、イエスが主であり、イエスが道、真理、いのちであるという事を心で信じて口で告白する事なしに、救われる事はありません。彼を通してでなければ、誰も御父のもとに行く事は出来ません。誰であれ、まず最初に悔い改めない限り、御父に近づく道はありません。母親の子宮からではなく、上のものから新しく生まれなければ。ですから、これは非常に明確に示す必要があります。このメッセージが何らかの形で伝えられ、ユダヤ人から隠されないように。私がこう言う理由は、ユダヤ人からこれを隠している人が非常に多いのです。「彼らの反感を買いたくない」とか、「彼らにとって異国のメッセージを与えたくない」とか考えて。それは馬鹿げています。イエスがユダヤ人にそう言ったとき、彼は、ユダヤ人だったのです。それは、異邦人から異邦人へのメッセージではありませんでした。しかし忘れてならないのは、イエスは、新約聖書からは一度も説教されませんでした。パウロは、一度も新約聖書を引用した事はありません。そしてユダヤ人は、いかなる形であれ、新約聖書の聖句を使用している説明は受け入れません。そもそも、彼らは新約聖書が神の御言葉であると信じていませんから。ですから、旧約聖書をよく勉強してください。ところで、その為にこれから私は、旧約聖書の異なる書からメシアを教えるシリーズを始めるのです。初めはダニエル書です。様々な教師が様々な書を教えます。なぜなら、彼はいたる所にありますから。イエスご自身、覚えていますか？エマオへの道のりにある二人の弟子たちに、彼は、二人に聖書を開きましたが、当時、新約聖書はありませんでした。イエスは彼らに旧約聖書を開いたのです。それから、ルカの福音書の最後でさえ、イエスは、天国に行く前に言われます。「わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就する。」(ルカ24章44節)「すべて」「必ず」です。ですから、彼らには旧約聖書を通して、イエスのメッセージを伝えなければなりません。そして、彼らがあなたに耳を傾けるために、私たちは旧約聖書の用語を適用する必要があります。しかし繰り返しますが、覚えておいてください。私たちは、祈らなければなりません。なぜなら、イスラエルの大多数がイエシュア、イエスを拒絶しています。しかし最終的には、彼らが突き刺した方を見て、彼らは悔い改めます。ホセア書5章15節は告げています。「彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻っていよう。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。」(ホセア5章15節) 悲しい事ですが、苦しみが…唯一、苦しみだけが、おそらく、彼らに「これが救世主なんだ」と理解させるものなのでしょう。「これが待望のメシアなんだ」と。そして繰り返しますが、イスラエルは…ローマ書9章と10章の、パウロの心を思い出してください。彼がローマ書11章に至る前に、彼は言います。「もしできることなら、私の同胞、肉による同国人のために、この私がキリストから引き離されて、のろわれた者となることさえ願っていたのです。」(ローマ9章3節) つまり、パウロは、イスラエルのためにそのような心を持っていたのです。そして、パウロは、彼らには熱意はあるが、知識がない事を告白しました。彼らは自分の義を確立しようとしています。だから、私たちは彼らに神の義について伝える必要があります。誰も自分の義を確立出来ないという事を伝える必要があります。しかし、私たちは新約聖書の聖句ではなく、旧約聖書を使用しなければなりません。彼らと最後まで会話したいなら。そして、私はいつも言うのですが、私は新約聖書を読む前に、イエスを私の救世主として受け入れました。そして、もちろん私は集会に行き始めて、新約聖書を読み始めました。しかし、私にとっては、預言書のすべての御言葉を読めば十分でした。そして、キャンパス・クルセードの映画「ジーザス」を見て、全ての点がつながって、彼がメシア、イスラエルの希望のメシアだった事を理解しました。

マイク牧師：バリー牧師、私は「不潔な豚を食べる異邦人」と呼ぶのが好きですが、ここで私たち異邦人の、ユダヤ人の友に果たすべき役割とは何でしょうか？

ユダヤ人の友人の、妬みを引き起こす方法についての洞察はありますか？ 私は先週、異邦人のこの質問に関する電子メールを3通受け取りました。ユダヤ人の友人に証して自分の信仰を効果的に分かち合うには、どうすれば良いでしょうか。バリー、何か洞察はありますか？

バリー牧師：まあ、アミールが言った事が、まさに、私たちの戦略をまとめていると思います。イエスが死からよみがえった日の、2人のユダヤ人について考えてみると、彼らは、この模擬裁判と不当な起訴の全ての意味を逃したのです。それと、彼に起こった他のすべての事、明らかに、殴打や彼が耐えたすべての苦しみ。彼はエマオへの途上で、ユダヤ人の王として2人のユダヤ人に遭遇し、そして主の苦しみについて議論し、聖書から話しました。そして、私がいつも面白いと思うのは、中にはユダヤ人の背景を持つ人が、キリストの信仰に至る時、彼らは新約聖書の中に、どれほど旧約聖書が含まれるかを見て驚きます。イエスが、イスラエルの救世主である“マシアッハ・ベンダビデ”である、という事実を指摘する為に、パウロや他の人が、どれだけ旧約聖書を頻繁に引用しているか。私にとっては、イエスがされた、この会話を思い返します。私が特にお伝えしたいのは、イスラエルでの、未信者であるイスラエル人ツアーガイドの興味深い反応です。私たちが旧約聖書の聖句を語った時、イザヤ書7章14節の、イエスが処女から生まれた所から始まって、ミカ書5章2節が告げた通り、彼はベツレヘムで生まれ、そして、ホセア書11章1節が告げた通り、彼はエジプトから呼び出されました。イザヤ書11章1節が指摘した通り、彼はナザレ人と呼ばれ、ナザレの語源となった、「根株」「ナザール」という言葉を使っています。”メシアが苦しむ”とイザヤ53章が描写した通りに、彼は苦しみました。ダニエル書9章が言う通り、彼は殺され断ち切られましたが、彼の為ではありません。イエスは、これらの事のすべてを成就されました。それらの事から、スポルジヨンの言葉を思い出します。良いですか？ 私たちは聖書を防衛する必要はありません。御言葉はライオンのようなもので、ただ檻から外に出せば良いのです。そうやって、我々はユダヤ人の友人の妬みを引き起こすのです。神の御言葉によって。彼らに言うのです。私たちは、全ての文脈と内容がイエスを指していると信じている。ただ、常に受け入れられるとは限りません。しかし、それは、すべての意味を逃した2人のユダヤ人に対して、イエスが行った事です。彼らは、メシアに起こった事で完全に失望していました。彼らはイエスに、こんな事まで言ったのです。「エルサレムにいながら、近ごろそこで起こった事を、あなただけが知らなかったのですか」私たちは、我々がメシアに望んでいたすべての事を、この人がやると思っていた。それが今、彼は死に終わり、そして誰かがやって来て、彼が死からよみがえったと言います。だから私は、イエスが死からよみがえった、まさにその日に彼が確立されたパターンに従うだけだと思います。そして、ユダヤ人の友人や隣人と共に、ただ旧約聖書を見るのです。

マイク牧師：非常によくまとめられました。そろそろ終わりの時間が近づいていますので、時間に注意したいと思います。しかし、これは本当に興味深い質問です。質問は次のとおりです。

Q：携挙の後、世界の指導者たちは、あなたの見解では、どのようにその出来事を説明するのでしょうか？ 私たちには今、コロナウイルスがあって、それぞれの国を導こうとしている、知事や世界の指導者たちがいます。私には想像するしかありませんが、携挙の後には、何百万もの理論やパニックが起こるでしょう。世界の指導者達は、それをどのように処理するのでしょうか。

アミール？ 彼らは、その期間に何をするとお思いますか？

アミール：私には分かりません。私は、それを見て、それに対処する必要がない事を、神に感謝します。私は、地球がいかに自浄しているか、という説明をたくさん聞いています。「これらの人々は、どこかへ行きました。彼らが奇妙な信念を持っていたから」ほら、私には分かりません。それがどう起こるかさえ、私には分かりません。私が知っているのは、コロナウイルスで起こっている事を見ていると、何百万人もの人々が消えても、いかに人々が気づかないかを簡単に見る事が出来ます。つまり、偽の報告をしている、非常に多くの国での死傷者について考えてみれば、この3ヶ月の間に、惑星地球から何百万人という人たちが消えました。なのに、誰も、誰1人として、それについて話しません。中国では、現在、何百万もの携帯電話の番号とアカウントが無くなっている事を、ご存知ですか？ 2,000万以上の携帯電話のアカウントです。そして、中国の携帯電話アカウントは、携帯電話は単に話す為ではなく、すべてを携帯で行います。それはあなたの銀行であり、それは政府があなたを監督する術です。あなたがどこへ行き、あなたが何をして、何を食べるか、全て。したがって、携帯電話のアカウントが空になり、リストから完全に削除されると

いう事、それをどう説明しますか？ 非常に多くの人々が消え、誰もそれについて話していないという事を、どう説明しますか？良いですか？

私には何が起こるか分かりません。しかし、一つの事を覚えておいてください。戦争が起こったり、ウイルスが発生したり、または何らかの激変が惑星地球を襲ったとしても、どこの誰が行方不明なのか、誰も数えません。人々はただ、彼らがない事を喜んで前進するでしょう。だから、繰り返しますが、私には分かりません。しかし、一つ私に分かるのは、私は自分がどこに行くか知っている、という事。そして、それは世界中のすべての信者の、初の国際的な集まりになる事を知っています。私が知っている事は、それだけです。

マイク牧師：バリー牧師、何か追加はありますか？携挙の後の世界の指導者。

バリー牧師：今起こっている事に関連して、2つの事があります。1)ちょうど最近、教皇がいくつかの異なる方法で言いました。「地球自体が、コロナウイルスまたはCOVID-19を通して人類に復讐している。気候変動やこう言った全ての事に対して、無関心だったから。」ご存知のように、これらは、非常に奇妙なほどバチカンによって推進されています。そして、それが要点をついています。そして、まず第一に、私たちは覚えておく必要があります。かなり大勢の人々が、この全貌を、「見せかけだ」と言います。主にキリスト教徒です。キリスト教徒は、創世記8章22節で神が仰っている事をよく知っています。「地の続くかぎり、種蒔きと刈り入れ、寒さと暑さ、夏と冬、昼と夜とは、やむことはない。」(創世記8章22節) 基本的に、地球が住む事の出来る場所である限り、これらすべてが続きます。意識で言いますが、これは主が言っている事です。「なあ、この惑星は私のものだ。私が物事を支配下に置いている」地球の表に人間がいる限り、物事は続くでしょう。そして、神はその周期を続けられます。さて他方では、私は面白いと思うのですが、私たちには今日、グローバル文化があります。それが始まり、今や、広く虚偽を受け入れ、全くの嘘を言われるままだに信じます。だからこそ、「フェイクニュース」という言葉があるのです。世界中で、全米で。私がこれを指摘する理由は、サタンはすべての嘘の父です。サタンが最初の獣に力を与え、彼に地位と権威を与えます。だから、彼は嘘の父によって権限を与えられるのです。したがって、彼が話を紡ぐと、何がセットになっているか、誰に分かるでしょう。しかし、彼は明らかに真実ではないものを信じる事に、すでに慣れてる世界に物語を紡ぎます。つまり、今日私たちが信じている事について、考えてみてください。数千年もの間、文化によって長い間支持されていたものは、突然、母親の子宮の中のものではなく、胎児組織です。突然、男性と女性の代わりに多数の性別があります。だから人々はますます嘘に慣れて、承認し、さらには擁護するようになっていきます。そして、私はそれが反キリストの呼び水になるのだと思います。何でも彼が言えば、他の世界の指導者は彼の周りに集まり、彼らの主権国家を彼の権力下に差し出すでしょう。その時は、アミールと同じで、私もここにいてそれを聞きたくありません。そして、私たちが皆主と一緒に空中で集められる時、私もその偉大な集會に居る事に感謝します。

アミール：はい、マイク牧師、バリー牧師、Q&Aの素晴らしい時間をありがとうございました。ありがたい事に、多くの領域をカバーしました。これでお二人とはお別れします。それからアロンの祝福と、いくつかの発表でこれを締めくくります。ありがとうございました。お誕生日おめでとう、バリー牧師！40歳には見えませんが、40歳になりましたね？かなり驚きです。ありがとう、マイク。今日は私たちと一緒にいてくれてありがとうございました。今、お二人とお別れします。皆さんに、思い出して欲しいのですが、私は終わりの時に関する本を2冊書いています。エゼキエル戦争に関する全てにおける、イスラエルの役割について。最初のものは「The Last Hour」で、これはデビッド・エリヤ博士のターニングポイントミニストリーの“今月の本”です。そして、新しい本「The Day Approaching」は非常に良い教材です。ビホールド イスラエルのウェブサイトでご購入される場合は、BeholdIsrael.org 終末について、また世界中で本当に何が起きているのかを学ぶ、素晴らしい手段です。では、いつものようにアロンの祝福でこれを締めくくります。そして明日、私はライブで教える予定です。イスラエル時間午後10時、カリフォルニア時間の午後12時そして、東海岸時間の午後3時です。「ダニエル書のメシア」を教えます。ぜひ、明日はご視聴ください。では、アロンの祝福で終わらしましょう。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

(民数記6章24節から26節/英語)

平和の主である、平和の君からしか得る事が出来ないその平和を、彼が今より永遠に、あなたに与えられます。限られた時間ではなく、ここでも、どこでも。限られた場所ではありません。彼の名前はイエシュア、イエス。彼は唯一の道、唯一の真理、そして唯一のいのちです。彼を通してでなければ、誰も救われる事が出来ず、誰も御父の元に来る事が出来ません。それは、すべての名の上にある御名です。

その主の御名によって、私たちは祈ります。

アーメン。

改めて、ありがとうございます。シャローム。神の祝福がありますように。

私たちのために、続けてお祈りください。私たちはあなたのために祈ります。今後、アップデートとQ&Aをもっと行っていきますので、またお知らせします。BeholdIsrael.orgをご覧ください。

私たちのフェイスブックはBehold Israel YouTube、ツイッターで、そして私たちのインスタグラムも、Behold Israelです。ありがとうございます。神の祝福がありますように。

シャローム、さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.05.12 (Tue)